

第13回 全国済生会糖尿病セミナーに 参加して

2006年7月22日(福岡市)

田丸 正明

全国済生会糖尿病セミナーは、1994年から全国の済生会病院の糖尿病診療のレベルアップを図り、ひいては済生会グループが糖尿病ケアのブランドとしてさらなる信頼を得ることを目的として年1回開催されています。

今年は福岡県済生会福岡総合病院副院長迫康博先生を当番世話人として7月22日に福岡市のアクロス福岡で開かれました。

「糖尿病診療におけるチーム医療」と題した東京都済生会中央病院の渥美義仁先生の基調講演に続き一般演題の発表が31題ありました。ランチョンセミナーでは川崎医科大学加来浩平先生が「インスリン療法の最近の話題」と題して、次に当番世話人の「2型糖尿病の病因としてのブドウ糖・脂肪毒性」と題する講演があり、最後に「これからの糖尿病診療の新しい戦略—糖尿病診療の現状と将来への展望」をテーマとしてパネルディスカッションが行われました。

基調講演にもありますようにこのセミナーはコメディカルを中心としたチーム医療の充実を大きな目的としています。一般演題31題のうち看護師による発表は15題、薬剤師は5題、栄養士は4題、理学療法士は2題とコメディカルによる発表・コメディカル同士による意見交換が活発に行われました。コメディカル間の全国に広がる連携も大きな成果でした(医師による発表も6演題ありました)。

セミナー終了後には同じ会場で市民公開講座が開かれました。200人を超える患者さま、ご家族の方に集まっていただき、九州大学井口登與志先生の「合併症予防を考えた糖尿病治療のコツ」、済生会福岡総合病院石井妙子先生の「オーダーメイドの食事入門」、東京都済生会渋谷診療所松岡健平先生の「生活習慣病としての糖尿病」というお話し

Box 1 シンポジウム



Box 2 市民講座



がありました。ユーモアを交えたお話に参加者はなごやかな雰囲気の中、熱心に聞き入っておられました。

医師にもコメディカルにも患者さまにも元気をわけていただいたセミナーでした。

なお、来年は7月21日に愛媛県今治市で開催いたします。M

たまる まさあき
社会福祉法人恩賜財団済生会今治第二病院 副院長
(〒794-0054 愛媛県今治市北日吉町1丁目7番43号)